

東日本大震災 石川民医連支援ニュース

No.19 2011年4月8日

石川民医連事務局 TEL 076-253-1458

第5次隊出発

第5次隊は明日4月9日8時出発です。笛吹Dr、河崎Dr(金沢脳神経外科医師)小島菜採Nrs、泉羽昨診療所事務長の4名です。その他、JMATから派遣される斎藤Dr、山中Nrs、山内さん(寺井事務)が10日8時出発の予定です。

* JMAT: 日本医師会災害医療チーム

昨夜震度6強の地震



写真は宮城民医連「災害復興ニュース」より

高村Dr 夜中です。

昨夜はこれまで最大の余震でした。塩竈は震度五弱でした。坂総合病院の研修医とご飯を食べているときで倒れた冷蔵庫を起こして、店を出て病院に戻りました。かなり、揺れて津波警報も出たので緊張が走りましたが、さすが災害拠点病院でトリアージ体制の構築の流れはすごかったです。とても勉強になりました。城北は災害拠点病院ではないですよね？それでも大災害が起きた場合、救急搬入のトリアージ体制は練習しておいてもよいのかもしれない。

老福連情報 7日23:32ごろ、仙台市宮城野区で震度6強の地震が再び起きました。

0時半、宮城野の里の楨さんから電話をいただきました。お年寄り・職員・支援者ともに無事です。

しかし「また元に戻ってしまいました」と…施設内の倒れるものは、また11日直後と同じように、すべて倒れてしまいました…と。

ちょうどNEWS ZEROを見終わって、職員・支援者ともに「そろそろ寝ようか」「自宅に帰ろうか」と動き始めた矢先の出来事。前回と同程度の揺れだったそうですが、強い縦揺れで恐怖を感じたと話していました。

電気もあと30分程度で切れてしまうため、物資で集まっていたろうそくなどをとりあえず集めました、と。(薪はまだ少し残っているとのことです)水も止まっていますが、おそらくしばらくは持つのではないかと話です。

武田県連事務局長 シュラフを引いて寝る寸前でしたが、揺れが収まるまで机の下に避難し、そのあと2階に対策本部が設けられ、3月11日に行われたようなトリアージ体制をとりました。2時過ぎに体制を縮小しました。電気は止まり、自家発電です。3時過ぎに仮眠をとり6時起床です。支援者の昼の食事をどうするか思案中です。



★このニュースは石川民医連のホームページで見ることができます。全日本民医連のホームページで宮城など現地の情報も見ることができます